

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置
1	女 60代	不眠 (高血圧症, 糖尿病, 脳梗塞後遺症, 糖尿 病性網膜症, 糖尿病 性腎症, 糖尿病性神 経障害)	10mg 1日間	<p>せん妄</p> <p>投与4日前 不眠のためプロチゾラム0.25mgを以前より毎晩服用(この日を最後に以降服用せず)。</p> <p>投 与 日 23時 本剤10mg服用。直後に来客あり。 接待中, 言動がおかしいことに夫が気付く。 「酒を飲め」など失礼な態度や「谷底に落ちる」などの言動あり。</p> <p>投与2日目 0時20分 当院受診。「山の中にいる」などの意味不明な返答あり。 経過観察のため入院。</p> <p>0時45分 血圧186/84mmHg。</p> <p>0時50分 ニフェジピン5mg舌下。 覚醒(応答可能な状態)。本人より「新しい眠剤を服用してからよく覚えていません」。</p> <p>1時00分 血圧170/70mmHg。意識清明と判断。しばらく経過観察。</p> <p>1時45分 血圧142/76mmHg。帰宅。</p> <p>肝機能障害はないと思われる。飲酒の習慣なし。プロチゾラム, その後投与されたトリアゾラム, クアゼパムなどでは異常なし。</p>
併用薬: スピロノラクトン, カルベジロール, 塩酸テモカプリル, メシル酸ドキサゾシン, アカルボース, アゾセמיד, ベシル酸アムロジピン, 健胃消化剤, イブジラスト, 塩酸チクロピジン, 塩酸メキシレチン, ヒトインスリン(遺伝子組換え)				

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置
2	女 60代	不眠症 (高脂血症, 胃炎, 高 血圧症, 不安神経 症)	10mg 139日間	<p>せん妄</p> <p>投与139日目 一人暮らし。晩に本剤10mgを服用し就寝。</p> <p>投与140日目 朝起きてみたら, 冷蔵庫に入っているはずの団子が食べてあつ (投与中止日) た。本人に食した記憶なし(おそらくせん妄が出現し, 本人が食 したものと考えられた)。</p> <p>中止13日後 本剤との関連が考えられ, 他剤へ変更したところ, 特に症状は なく経過している。</p>
併用薬: セリバスタチンナトリウム, マレイン酸イルソグラジン, トロキシピド				